



梅郷駅西口・東口広場や

駐輪場・東西通路の整備も



梅郷駅周辺の整備で 幹線道路から接続も便利に

これまでに「梅郷駅周辺のまちづくり」として駅の東西連絡自由通路や東西駅前広場、駅東口市営駐輪場の整備を進めてきました。

梅郷駅は、平成19年に駅舎と連絡通路、20年1月に西口駅前広場、同年10月は東口駅前広場を整備し、東駅前線を開通しました。

また、市内を南北に通る山崎吉



滑りにくいブロック舗装など安全面にも配慮

梅郷駅舎のバリアフリー化や東西連絡通路の設置とともに、駅西口、東口広場の整備も進めてきましたが、昨年秋には東口に地下1階、地上3階建ての駐輪場をオープン。また、西口の駅前線や区画整理の早期完成も目指していきます。

春線と県道・松戸野田線を東西方向に結び、梅郷駅西口に通じる都市計画道路・梅郷西駅前線の整備

を進めています。

梅郷西駅前線は、延長約85メートル(幅員16メートル)のうち、駅西口から県道まではすでに開通しています。県道から山崎吉春線まで714メートルの区間は、14年度から着工し、20年5月に南部梅郷公民館南側までの約308メートルを部分開通しました。残る約406メートルも順次工事を進め、26年度中の全線開通を目指しています。

さらに、21年1月から東口に新たな駐輪場の建設工事を進め、同年12月1日に、地下1階・地上3階建て、自転車千570台と原動機付自転車(50cc以下)80台を収容でき



国道16号方面からの梅郷駅へのアクセスが向上

る東口市営駐輪場を開設し、あわせて、自転車などが歩行者や車両の通行、救急・緊急時の妨げとなったり、街の美観を維持するため、駅周辺を条例に基づいて自転車等の放置禁止区域に指定しました。

なお、市内の東武野田線の6つの駅のうち、15年当時、駅の両側に出入り口があるのは川間駅だけで、5駅は西側のみの出入り口でしたが、新市建設計画の作成にあたり、市では愛宕駅と野田市駅は連続立体交差事業にあわせて整備し、七光台駅、清水公園駅、梅郷駅は東西連絡通路を造って東口の開設を決めました。